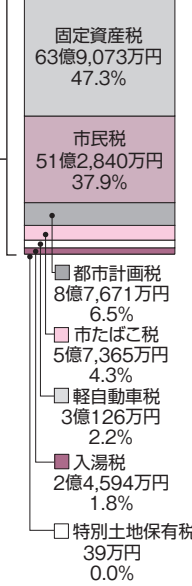
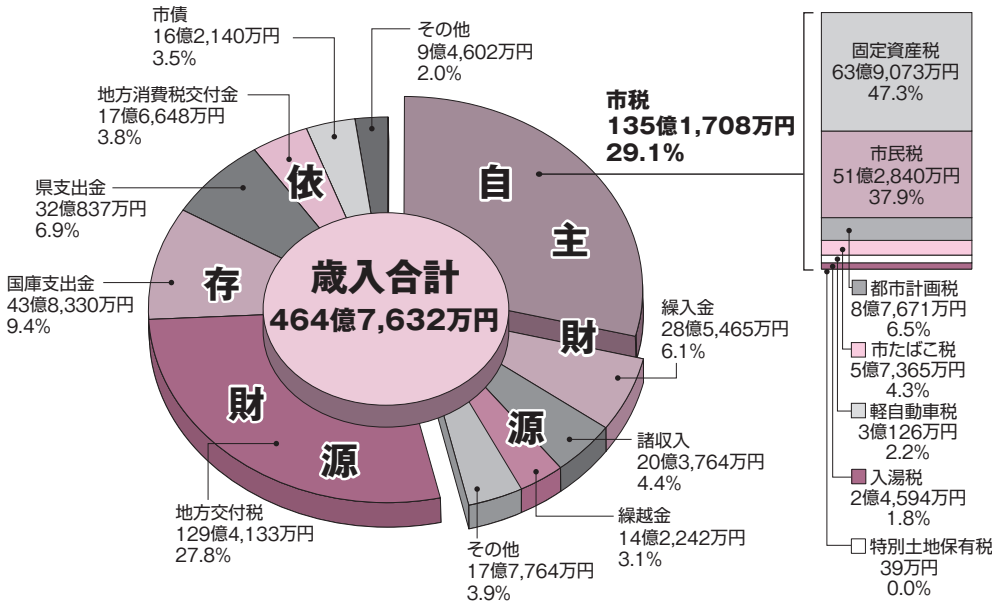


歳入(入ったお金)と歳出(使ったお金)の内訳【一般会計】

平成30年度の決算がまとまりましたので、その概要や主な取り組みを紹介します。

平成30年度

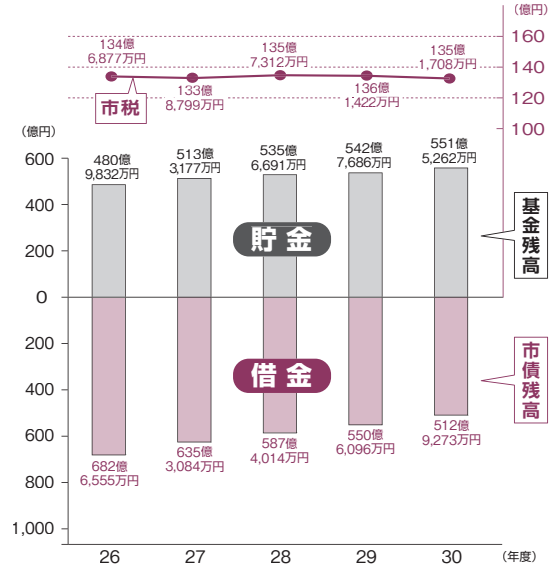
決算報告



歳入 464億7,632万円 (485億9,405万円)
 歳出 440億4,161万円 (464億7,164万円)

※ () は平成29年度決算

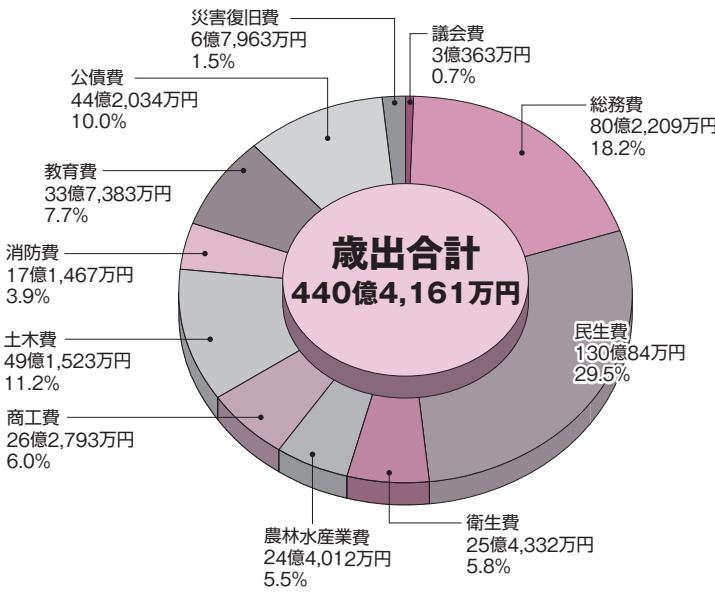
市財政の推移



市民一人あたりの市債残高(一般会計)

278,222円

平成29年度から27,439円減少しました



TOPIC

財政の用語

- 自主財源** 市が自らの手で徴収、または収納できる財源のこと。
- 依存財源** 市税、使用料、手数料、寄附金などがあります。収入にあたって国や県の関与を受ける財源のこと。
- 地方交付税** 地方公共団体が等しく合理的かつ妥当な水準で事務を遂行し、財産を管理できるように、市の財政力に応じて国が交付するお金のこと。
- 市債** 市がする借金のこと。

※数値は万円単位の表示であるため、端数処理(四捨五入)により計や差引きが合わない場合があります。

特別会計の決算状況

会計名	歳入	歳出	差引残額
国民健康保険事業(事業勘定)	94億7,799万円	91億9,142万円	2億8,657万円
国民健康保険事業(直診勘定)	4億5,750万円	4億1,584万円	4,166万円
下水道事業	40億5,308万円	39億4,536万円	1億772万円
地方卸売市場事業	3,302万円	2,839万円	463万円
学校給食費	3億7,091万円	3億7,085万円	6万円
農業集落排水事業	7億871万円	6億4,230万円	6,641万円
介護保険事業	92億6,890万円	92億2,091万円	4,799万円
観光施設事業	1億1,881万円	1億562万円	1,318万円
後期高齢者医療事業	12億2,933万円	11億6,475万円	6,458万円
計	257億1,824万円	250億8,544万円	6億3,281万円